

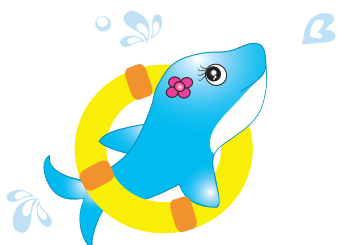


なごみ

No.31 2015年秋号

えきもん通信

- ◆特集
過活動膀胱の最近の話題
婦人科領域の手術
- ◆地域医療機関の紹介
池田医院
- ◆院内TQM大会より
- ◆院内探訪
腎センター
- ◆サークル紹介
- ◆合同イベントお知らせ
- ◆連携だより
教育入院のご案内



えきさいかい
一般社団法人日本海員掖済会
門司掖済会病院

過活動膀胱の最近の話題

多くの患者さんが
かかりつけ医への受診を希望しています



泌尿器科部長 山下 博志



過活動膀胱は尿意切迫感が必ずあり、通常は頻尿を伴っている状態を指し、切迫性尿失禁はあってもなくてもよい。国内患者数は約 800 万人と推定されているが、女性の医療機関受診率は 7.7% とかなり低く、治療を受ける場合は約 70% がかかりつけ医を希望している

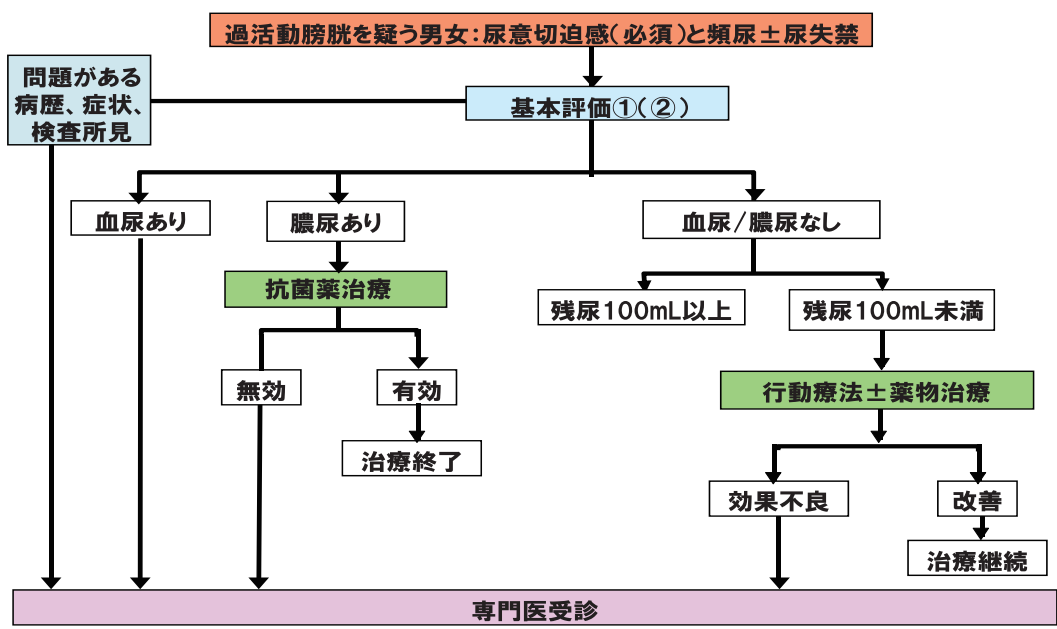
平成 27 年 4 月に過活動膀胱診療ガイドライン第2版（図）が刊行されたが、今回の診療アルゴリズムは一般医家対象と泌尿器科対象の 2 つに分けられた。

ここではどちらにも共通する薬物療法について解説する。

過活動膀胱において、薬物療法はその治療の根幹をなすものである。様々な薬剤のなかで有用性や安全性について最も検討がなされているのは抗コリン薬（プロピベリン、ソリフェナシン、トルテロジン、イミダフェナシン）であり、最近新たな経口薬（フェソテロジン）や貼付薬（オキシブチニン）も処方可能となった（すべて推奨グレードA）。また、抗コリン薬特有の副作用（口内乾燥、便秘など）のない新規作用機序の薬剤として、 $\beta 3$ アドレナリン受容体作動薬ミラベグロンも処方可能となった（推奨グレードA）。

ただし、前立腺肥大症を合併した男性の過活動膀胱患者では、まず $\alpha 1$ 遮断薬の投与から開始することが推奨されており、専門医受診が勧められる。

図 OAB診療のアルゴリズム(一般医家が対象)



婦人科領域の手術

マイクロ波子宮内膜アブレーションを 導入しました



婦人科部長 木原 郁夫

当科では、週に2日午後より手術を施行しています。良性疾患手術が多く、腹腔鏡および子宮鏡手術による良性腫瘍手術と子宮脱等の骨盤臓器脱手術で全体の80%以上を占めています。最近、新しい術式として、過多月経による貧血を繰り返す患者様を対象にマイクロ波子宮内膜アブレーションを導入しました。

1 マイクロ波子宮内膜アブレーション

子宮筋腫等による過多月経で、貧血を繰り返す患者さんを、おなかを切らずに治療する方法です。1泊入院で、退院翌日から仕事も可能です。

子宮内腔にアブレーターを挿入し、マイクロ波で子宮内膜を凝固することで、出血量を軽減します。凝固に要する時間は、15-30分程度で、術後の痛みも軽度です。貧血の治療が頻繁に必要で、手術する時間のない方には、特にお勧めします。

2 メッシュを使用した骨盤臓器脱手術（TVM法 Tension-free vaginal mesh）

門司港地区は高齢者が多く骨盤臓器脱（子宮脱 経膈膀胱脱 経膈直腸脱等）の比率が高い地域です。従来は、子宮の一部または全部を摘出し、膈壁の伸展した部分を縫縮する手術が主流でしたが、再発率が10-30%と高めでした。

平成19年頃より、再発率の低いTVM法が始まり、当院でも平成21年より施行しています。下垂した膈の粘膜を切開し、粘膜下にヘルニア手術等で使用するメッシュを挿入し、ハンモックにのせて吊り上げるように膀胱や直腸、子宮頸部をもとの位置に牽引し、固定する術式です。基本的には子宮摘出はしないため、からだの負担もいくぶん小さくなります。手術による長期合併症は、手術を要する再発率0.9% 全再発率3.6% メッシュによるびらん4.5% 血腫3.6% 500g以上の出血0.9% 膀胱損傷0.9%程度です。当科は手術症例数も順調に増加しており、実績のある病院として学研社の「全国の頼れるドクター」にも紹介されています。

3 腹腔鏡および子宮鏡下手術

当科では、腹腔鏡下子宮全摘術の保険適応が認められて以来、平成10年より腹腔鏡下手術400例以上を経験しています。当科での腹腔鏡下手術は、主として腹腔内にガスを注入しない腹壁吊り上げ方式を採用しており、卵巣腫瘍摘出術、子宮筋腫や子宮内膜症の子宮全摘術、筋腫結節のみを取り除く腹腔鏡下筋腫核出術等を施行しています。手術時間は開腹術よりかかりますが、術後の苦痛や腹腔内の癒着は明らかに低下します。

いけだいいん
池田医院

院長 香月 きょう子先生

〒801-0873
北九州市門司区東門司2丁目9-13
電話 093 321-2659

診療科 内科・小児科
診療時間 9:00～18:00 (昼休み 12:30～14:00)
土曜日 17:00迄 日祝日、水曜日休診



昭和30年開業の池田医院です。元々は鍋島藩の士族でした。明治維新以降1代目(院長の曾祖父)は佐賀の川副町で開業したとのことですが、2代目(院長の祖父)が、門司税関の検疫官で門司港に赴任したため、3代目(院長の父)は門司港で生まれたそうです。3代目は先の大戦でビルマのインパール作戦に参加するも稀少な確率で生還し、昭和30年に門司港の生家近くで開業し、3代目の死後現院長が受け継ぎ、今日に至っています。

当院のコンセプトは、患者さんに納得のいく診療をすること。もちろん、医療は患者さんの望む結果ばかりが出るとは限りません。嫌な結果もままあり、受け止めきれない患者さんもいます。できるだけわかりやすく話をし、理解、納得していただけるよう努力しています。その意味もあって予約制にしています。完全予約制ではありませんが、説明の時間を確保するのと待ち時間をできるだけ短くするため予約制にしています。面倒をお掛けする面もありますが、ご理解とご協力をお願いします。

現在、院長は福岡県医師会の理事をしています。色んな会議で患者さんにご迷惑をお掛けすることがありますが、ご理解いただきたいと思います。それが何の関係があるんだと思われる方も多いかと思えます。しかし、医師会は皆さんにも無関係ではありません。東北の大震災はご記憶に新しいかと思えます。この時も医師会は医薬品の確保や医療チームを出したりしています。この北九州市の開業医の

先生も行かれています。また予防接種や健診。いつ、誰が、どこで、いくらをするのかなど、市や県行政と話し合いをして決めています。様々な医療の関係する対策に関する会議に出席を求められ意見を述べています。産業医や学校医・園医なども紹介しています。その質を担保するためや、認知症を始め、様々な病気の治療の進歩を広めるための研修会を開催しています。このように医師会は皆さん方と無関係とは言えないのです。



院内 TQM 大会より



毎年業務改善に取り組んだ発表を行っています。

7月6日のTQM大会では、5部署より発表がありました。



TQMとは全員（Total）で、医療、サービスの質（Quality）を、継続的に向上させる（Management）ことです。

病院の活動においても、従業員が経営的課題に対して組織的に努力し、取り組んでいます。

退院前訪問指導の改善

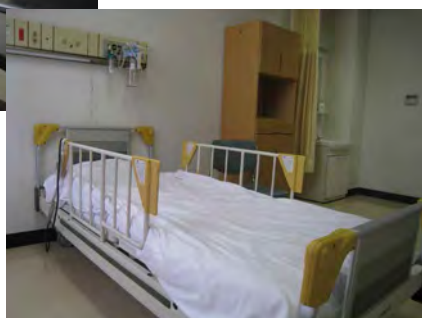
リハビリテーション科

リハビリテーション科では、自宅訪問指導の内容の充実を図るための業務改善を行いました。事前の情報収集を標準化し、作業療法士による事前練習や、作業療法士・理学療法士による自宅訪問指導の実施、退院後の再調査、実施後の報告会を行いました。これらにより、実施対象者の満足度向上とセラピスト個人の向上が図られました。さらなる満足度向上をめざし、継続的な改善に取り組んでいきます。



外来化学療法室 患者満足度調査の実施

東 4 病棟・外来合同



平成 26 年 12 月より安全かつ効果的な治療を患者さまに提供する目的で外来化学療法室を開設しました。今回治療中の患者さまに、外来化学療法室の評価・満足度を把握するために満足度調査を実施したところ、「環境・設備」においては、静かになった、同じスタッフで安心、ベッドが広くなったなどの意見があり、「接遇・コミュニケーション・プライバシー」においてもよい評価をいただくことができました。



腎センター

院内 探訪 その1

腎センターの歴史

当院の腎センターは、透析室という名称で昭和49年（1974年）に開設され今年で約40年になります。当院で一番長い透析歴の患者様は35年です。

平成23年頃、一時的に患者数が減少していたため、第2腎センターを閉鎖しましたが、平成25年より維持透析患者数の増加に伴い再開となり、現在に至ります。患者様が安全で安楽な透析治療が受けられるよう、業務改善に取り組み、積極的に勉強会等参加するよう努力しています。今後も、日々精進していきたいと思っています。



腎センターの紹介



当院腎センターは、医師3名・看護師18名・臨床工学技士5名のスタッフで業務を行っています。

ベッド数は54床で、月水金は午前・午後の2クール、火木土は午前1クール、月水金のみ第2腎センターを午前1クールのみ稼働しており、現在の維持透析患者様は120名前後です。

平成26年の導入患者様は19名、そのうち半数以上の患者様は原疾患が糖尿病性腎症でした。

また、PTA（経皮的シャント拡張術）は平成26年の1年間で156件行っており、他院からのご紹介の患者様を積極的に受け入れています。

腎センター看護師の新たな役割

当院ではチーム医療の一環として、糖尿病で現在内科通院中の患者様を対象にした「糖尿病透析予防指導管理」に取り組んでおります。前述したように、糖尿病性腎症を原疾患とする透析導入患者様が最も多いことから、それによる腎不全の進行を予防する目的で療養指導を行い、フットケアにも力を入れています。

腎センターの看護師だからこそ身近な問題として、また専門知識を生かし、指導を継続していこうと努力しています。それらの業務において、専門職としての知識技術向上のため、九州人工透析研究会総会に毎年出席し、研究発表にも取り組んでいます。

臨床工学技士の紹介

当院の臨床工学技士は、人工透析を中心とした生命維持装置の臨床業務と、機器点検業務を担っています。装置に関しては、スケジュール管理された定期点検と部品交換を目的としたオーバーホールを実施しています。透析液に関しては、透析液水質確保加算2を取得し、徹底した水質管理を行い無菌で清浄化された安全な水の提供に努めています。今後も、安心して安全な医療の提供の一端を担い、患者様から信頼される技士を目指し、日々努力して参ります。



ちよつとひと息
ほつとカフェ

えきさいかい サークル紹介

ゴルフ同好会



ゴルフ同好会は以前より存在していましたが、私と藤東先生が当院に勤務するようになった平成8年ごろから活発になりました。ただ、活発になったといっても、年に2回くらいコンペを行っている程度です。たまに別のコースでも行っていますが、主に門司GCです。門司GCは難しく、みんなの挑戦意欲をかきたてるようです。

参加者は院内が4~5名と少ないため(若い先生たちを誘ってはいるのですが)院外からも6~9名参加してもらい、なんとかコンペができるようにしています。OBの先生方の参加もお待ちしております。写真は昨年春にコンペを行った時のものです。(泌尿器科部長山下博志)



テニス同好会



門司掖済会病院のテニスサークルは、4月から11月までの毎週水曜日午後6時半から8時半に北九州市立門司庭球場で活動しています。

メンバーは、門司掖済会病院職員と近隣の医療関係者で、テニスレベルは問わず幅広い年齢層のテニス愛好者が楽しく練習とゲームを楽しんでいます。いろいろな人たちとの交流を大切に考え、テニスを通じてメンバーそれぞれの親睦を図ることを目的として活動しているテニスサークルです。テニスの愛好者の方でしたらどなたでも歓迎いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

合同アーベント開催のお知らせ

- 日時 平成27年11月16日(月) 19:00~
- 場所 門司掖済会病院 本館1階 講堂
- 演題 最近気になる電解質・・・Mg(マグネシウム) 内科部長 有村 美英
(予定) 化学療法による長期生存例 外科部長 安部 利彦

他2題程度を予定しております

※ お車でお越しの際は、病院横の患者用立体駐車場をご利用ください。

連携だより



●● 教育入院のご案内 ●●

当院では教育入院を積極的に受け入れています。ご紹介患者さまがおられましたら医療連携室へご連絡ください。

● 糖尿病 12日間コース (ご希望に応じて日数の調整が可能です)

医師・歯科医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療法士によるチームが かりつけの先生方と連携し、糖尿病患者の皆様が正しい知識を持ち、実行できるよう、教育入院を行っています。主な内容は次のとおりです。

- ・食事療法 (個別に設定します) ・運動 (ウォーキング、エルゴメーターなど)
- ・体重、血糖検査 ・細小血管障害の検査
- ・がんの検査 (必要に応じて胃・大腸内視鏡検査など)

● 腎臓病 3泊4日コース (そらまめ腎臓病教室)

医師をはじめとする医療チームにより、腎臓病の正しい認識を身につけていただき、末期腎不全への進行を阻止します。主な内容は次のとおりです。

- ・腎臓の基礎知識、腎臓病の学習 ・薬剤師による服薬指導
- ・管理栄養士による栄養指導 ・腹膜透析のデモンストレーション
- ・検査技師による検査データの見方の指導

お支払いの目安

	糖尿病教育入院(2週間)	腎臓病教育入院(3泊4日)
1割負担の方	約60,000円	約20,000円
3割負担の方	約140,000円	約50,000円

※お支払いが一定額を超えた場合、高額療養費制度の対象となります。



● 睡眠時無呼吸症候群 (簡易検査・終夜睡眠ポリグラフィー入院)

● 骨粗鬆症 (骨密度) 広報誌なごみ 30号 (1頁～2頁特集参照)

検査をご希望の場合は、所定申込用紙に記載の上、医療連携室に FAX 送信してください。予約日時確認後、予約確認票をお送りいたします。



Japan Seafarers Relief Association Moji Ekisaikai Hospital

Japan Seafarers Relief Association Moji Ekisaikai Hospital



今月の表紙

秋になると紅葉をもとめて撮影に出かける時間が増えます。近場でお薦めスポットは下関市の長府です。表紙の写真は長府庭園で、庭園には池、書院などが配置され、池に映える鏡紅葉を見ていると時を忘れてしまいます。



編集後記

10月に入り気候も涼しくなり、ずいぶん過ごし易くなりました。秋といえば食欲・行楽・スポーツ・芸術・読書と色々思い浮かびますが、出不精な身としては毎年食欲・読書のための秋です。今年はお腹周り対策に散歩くらいやってみるのもいいかもしれませんね。

発行



一般社団法人 日本海員掖済会
門司掖済会病院

〒801-8550
北九州市門司区清滝1丁目3番1号

代表 電話 093-321-0984
FAX 093-331-7085

<http://www.ekisaikai-moji.jp>



医療連携室

電話 093-321-1031
FAX 093-331-1032